

2024 年度事業報告書

自 2024 年 4 月 1 日

至 2025 年 3 月 31 日

一般社団法人 コンテンツ海外流通促進機構

(CODA)

〔事業運営〕

1. インターネット上の海賊版の侵害対策

(1) 著作権教育・意識啓発

① 国内の一般消費者に向けた広報啓発活動事業

- ・ 経済産業省および文化庁の受託事業で実施した各活動については、ニュースリリースや原稿執筆を行い、報道機関や関連団体・企業等に告知し、広報啓発に努めた。
- ・ 1月に京都新聞主催の「“著作権”について学ぶワークショップ -未来のクリエイターにとって大事にしたいこと-」に当機構が招待を受け、小学生の児童とその保護者を対象に、著作権について学ぶためのワークショップに講師として参加した。

② ACA（不正商品対策協議会）との連携

- ・ 不正商品対策協議会の代表的な活動として、全国各地で一般消費者を対象とした知的財産権保護がテーマのイベントである「ほんと？ホント！フェア」を、三重県、埼玉県、宮崎県においてそれぞれ実施した。また11月27日、日本経済新聞社主催、経済産業省、ACA、当機構共催のシンポジウム「第18回アジア知的財産権シンポジウム『知財立国への再起動』-ケーススタディから考えるクールジャパン2.0-」を、日経カンファレンスルームでリアルおよびオンラインのハイブリッド方式で開催した。同日の内容は、12月26日の日本経済新聞朝刊全国版紙面にて全2面にわたり掲載された。

③ 北京事務所における知財関連情報の収集と発信

- ・ 北京事務所により、情報収集した中国の知的財産保護等に関するニュースを、毎月発行するニュースレターに掲載し、会員企業・団体に情報共有を行うなどした。
- ・ 北京事務所は日本コンテンツの中国ライセンスからの依頼に基づき、権利の帰属を証明する著作権認証証明書を発行しており、10作品の証明書を発行した。

④ PBL型教育プログラム「10代のデジタルエチケット」の実施

- ・ 未来を担う若者に向けてコンテンツへの理解を促進し、安全で責任あるデジタル環境を確保するため、デジタル市民としての権利を享受するうえで欠かせない倫理や共感などを主体的且つ自律的に理解するための意識啓発の取り組みとして、コンテンツ保護を自らどのように行うことができるのか、を考えるプロジェクト型学習（Project Based Learning）の授業プログラム「10代のデジタルエチケット」を日本全国6ヶ所の高等学校で実施したうえでプログラム内容の評価を行った。また、世界的に不正コンテンツ・海賊版の被害が拡大しているところ、同プログラムの英語版を新たに制作、海外での実践を試み、スウェーデンの高校とマレーシアの中学・高校でもプログラムを実施し内容

の評価を行った。

- ・ 中学生、高校生をメインターゲット、コンテンツやクリエイターに興味のある一般層をサブターゲットとして、一般社団法人 ABJ と韓国の著作権海外振興機構（COA）の協力の下、広報活動の一環として WEB ラジオ番組「10代のデジタルエチケット放課後編 ようこそ☆コンクリ研へ！～部活でコンテンツをクリエイト♪～」(3話+アニメーション1本)を制作し、配信を行った。
- ・ 多くの消費者と児童・生徒にコンテンツやクリエイターに対する理解を深めていただくことを目的に、また、若年層に向けたキャリア教育の観点からの利活用も想定し、コンテンツ産業の最前線で活躍するプロのクリエイターへのインタビュー動画「10代のデジタルエチケット CREATOR+」(全5篇)を制作し、配信した。
- ・ 教育関係者、学生をターゲットとし、東京学芸大学で行われた Tokyo Education Show (10月12日～13日)に出展、公開授業を実施した。また12月には自治体、教員を対象としたウェビナー「自治体×次世代教育 探究・STEAM 最新動向」に登壇し、教育現場における生成 AI の学びを著作権やコンテンツ産業の観点からアプローチすることについて議論、講演をした。
- ・ 12月12日、「10代のデジタルエチケット CREATIVE AWARD 2024」の審査結果発表イベントをオンラインで開催し、日本全国とスウェーデンから応募のあった175作品の中からグランプリほか各賞を発表した。また、授賞特典としてグランプリ受賞者にプロのクリエイターとの特別セッション、受賞者および一次選考通過者を対象に東映東京撮影所見学ツアーを実施した。さらにグローバル特別賞受賞者と日本のクリエイターとの交流として、スウェーデンの学生4名が考案したキャッチコピーを元に啓発ポスターを制作した。

(2) 国際連携・国際執行の強化

① アメリカ映画協会（MPA）等との連携

- ・ 平成26年にMPAとオンライン侵害対策に関する協力や情報共有についての覚書を締結して以来、今年度は締結10周年を迎える5回目の更新を行った。
- ・ 覚書の締結以来、ロサンゼルスにあるMPAのオフィスを毎年訪問し意見交換を通してオンライン侵害や侵害対策に関する情報収集に努めている。今年度は11月にワシントンDCにあるMPA本部を訪問しMPAの海賊版対策の責任者と意見交換を行った。
- ・ 7月MPAのEMEA（ヨーロッパ、中東、アフリカ）オフィスを訪問し、ヨーロッパにおける著作権侵害やその対策に関する最新情報の収集を行うと共に、共同エンフォースメントの実施について協議した。
- ・ またMPAの日本支部となる日本国際映画著作権協会（JIMCA）やMPAのアジア・太平洋支部との間では月一回のペースで定期的にオンライン会議を開催し、最新情報を共有して連携強化を図った。

② 中国出版創意産業基地・国家版權創新基地と著作権分野における戦略的提携に関する覚書を締結

- ・ 4月16日、当機構と北京市朝陽区政府が中国国家版權局などと共同で推進する著作権産業プロジェクトである重点科学技術・産業センターの中国出版創意産業基地・国家版權創新基地は、日中両国の著作権分野における相互理解を深め、さらなる発展促進を図ることを目的とした覚書（MOU）を締結した。本覚書の締結により、当機構と中国出版創意産業基地・国家版權創新基地はそれぞれの強みを活用し、今後幅広い分野で協力関係を構築するものとした。

③ 中国政府機関など中国関係機関との連携

- ・ 4月に当機構において、北京市朝陽区政府、中国版權協会、および中国IT企業、コンテンツ企業などからなる訪日団を招聘し、日中コンテンツの流通促進に関する意見交換会を開催した。
- ・ 5月に当機構は中国・北京へ出張時に在中国日本国大使館を表敬訪問し、大使などとの間で、中国の日本コンテンツに係る侵害実態やその対策、課題等について意見交換を行った。
- ・ 6月に、外務省が推進する対日理解促進交流プログラム「JENESYS 2024」中国著作権業界関係者代表団の来訪に当機構が実施協力を行い、当機構において著作権保護や侵害対策に関する意見交換会を開催した。
- ・ 7月に当機構において、国家版權局版權管理局、中国版權協会、中国の大手IT企業、コンテンツ関連企業などからなる訪日団を招聘し、意見交換会を開催した。
- ・ 7月に東京において、中国版權協会と共催の「2024日中著作権保護及び発展シンポジウム」を開催した。
- ・ 9月に江西省景徳鎮市で「2024国際著作権フォーラム」が開催され国家版權局の招待を受けて出席した。
- ・ 12月に北京において、中国版權協会と共催で「日中IP著作権保護シンポジウム」を開催した。
- ・ 12月に上海において、上海インターナショナル・リゾート管理委員会、浦東新区文化体育・旅遊局、浦東新区知的財産局、上海市版權協会共催「「2024国際コンテンツIP産業発展会議-IP Plus」」が開催され、基調講演を行った。
- ・ 1月に外務省が主催する中国知的財産担当官会議が開催され、当機構が講演を行った。

④ 韓国著作権保護院(KCOPA)など韓国関係機関との連携

- ・ 8月にKCOPA本部において、また12月には当機構において、KCOPAとの間で定期会議を開催し、最新情報に関する情報共有と意見交換を行った。KCOPAからは、近時の活動及び課題について解説がなされ、コンテンツ利用者向けの著作権保護キャンペーンに注力

している旨の紹介があった。12月の会議では出版社会員も含めた会議も実施し、日韓の官民団体が協力して日韓コンテンツの侵害対策を進めることが確認された。

- ・ 11月に韓国・ソウルで韓国著作権海外振興機構（COA）主催の「2024 国際海賊版対策セミナー（2024 International Seminar in Response to Global Piracy）」が開催され、COAからの招聘を受け当機構が講演を行った。

⑤ 国際刑事警察機構（ICPO）との連携

- ・ ICPO が令和3年に開始したオンライン侵害対策プロジェクト I-SOP: (Interpol Stop Online Piracy) に関して、警察庁とともに連携し、日本コンテンツの海賊版サイトに関する情報共有を行うなどした。
- ・ 6月に ICPO のリヨン本部で開催されたデジタル侵害についての世界会議に、ICPO の招聘を受け著作権侵害対策の専門家として参加した。
- ・ 11月に、I-SOP プロジェクトの担当者2名を日本へ招聘し、I-SOP プロジェクトをアジア知的財産権シンポジウムで紹介したほか、ICPO と警察庁や京都府警との間で日本コンテンツの保護に関する国際協力についての話し合いの場を設けた。

⑥ 海外における知的財産権保護基盤の構築

- ・ 4月に、JETRO の協力を受け CODA 会員社らと共にインド・ムンバイへの視察を実施し、「ムンバイ・コミコン 2024」および、ムンバイ市内のモールにおける正規コンテンツや模倣品と思われるコンテンツの販売状況を確認したほか、日本アニメのファンとの交流会や、アニメの配信事業社 Crunchyroll およびアニメポータルサイト AnimationXpress を訪れ、インド市場の可能性や正規ビジネスの現状、侵害の状況やその対応について意見交換を行った。
- ・ 7月に文化庁主催の令和6年度海賊版対策事業（日越著作権協力事業）の一環として、ベトナムの文化・スポーツ・観光省著作権局職員などと出版社などとの意見交換会が開催され、当機構もこれに参加し、海賊版対策、著作権の啓発活動への協力、ベトナムの知的財産法や運用状況などについて意見交換やディスカッションを行った。
- ・ 10月に開催されたアジア太平洋地域のビデオ産業や動画配信産業の発展を推進する Asia Video Industry Association (AVIA) 主催の国際カンファレンス「Japan in View 2024」に出席し、知的財産権保護や海賊版対策の重要性などについてのトークセッションに登壇した。
- ・ 1月に当機構において、GCC（湾岸協力理事会）参加5か国（バーレーン、クウェート、オマーン、サウジアラビア、アラブ首長国連邦（UAE））それぞれの知的財産権関連団体で構成される GCC IP Advisory Council 訪問団と知的財産の普及啓発を目的とした意見交換会を実施した。

⑦ 国際執行プロジェクト(CBEP)による海賊版サイト運営者の特定

- ・ インターネット上においては、匿名性や秘匿性を売りにするとドメイン登録会社や防弾ホスティング、コンテンツデリバリーネットワークなどのサービスも数多く存在しており、運営者の特定は困難を極めている状況を受け、海外の悪質な海賊版サイトに対する国際執行の強化を目的として、サイバーセキュリティの専門家と連携し、サイト運営者を特定するためのデジタルフォレンジック調査、オンラインプロファイリング/オープンソースインテリジェンス調査を実施し、複数の運営者、または関係者と思われる人物の情報を入手・特定した。その結果、悪質な海賊版サイトに対する共同エンフォースメントなどの実施により、無許諾で日本の広辞苑などの辞書データのサービスを提供する中国サイト「Sora」など 36 サイト（令和 3 年度から累計 83 サイト）を閉鎖することに成功した。また、海賊版サイトが著作権侵害を行っている証拠の保全のため、専門的知識が必要な作業についてもエシカルハッカーの協力を得て実施した。
- ・ 7月に参議院議員会館講堂にて「インターネット上の海賊版対策の実態／CODA 活動報告会」を開催し、CODA 会員社、関連企業・団体、各府省庁、メディアなどを対象に、今年度で発足から 4 年目を迎える国際執行プロジェクトのこれまでの実績について、最新の摘発事例を含め発表を行った。

(3) 広告出稿の抑制

- ・ オンライン広告関連 3 団体(JIAA、JAA、JAAA)との協議を継続し、各団体委員会の委員長が参加する「合同会議」を開催するとともに、実務者による「定期協議」を実施し、著作権に関する要警戒リストを共有し海賊版サイトに対する広告出稿抑止に努めた。
- ・ 世界知的所有権機関(WIPO)が構築・管理する侵害サイトのデータベースプラットフォームである「WIPO アラート」へ侵害情報の提供を行った。

(4) フィルタリング

- ・ 海賊版サイトへのアクセスを抑止するため、コンピューターセキュリティソフトのフィルタリングの対象として悪質な海賊版サイトの情報を、セキュリティ関連の 2 団体の会員社、フィルタリングサービス提供企業 1 社に共有した。

(5) その他

① 自動コンテンツ監視・削除センターによる対策

- ・ 平成 23 年より、インターネット上に違法アップロードされているコンテンツの検出を行い、権利者の削除要請通知の自動化を図る「自動コンテンツ監視・削除センター」

(以下「削除センター」と記す)を運営している。

- ・ 削除センターを通じて行われた要請については、システムを用いて自動で削除状況の確認を行い、削除率が低いサイトについては、UGC など事業者が存在する場合は個別に協議を行い、悪質な海賊版サイトの場合については広告抑制やフィルタリングの対象とするなど、総合的な対策を行なっている。今年度の実績(3月末時点)としては、37 サイトに対して合計 677,269URL について削除通知を送付し、545,870URL が削除された(削除率 80.60%) [1]。

② 著作権管理データベースの構築

- ・ 当機構北京事務所が中国において NGO 法人として登録され、令和 4 年 1 月に業務を本格始動したことから、「日本の著作物の著作権証明(認証業務)」、「会員企業の正当な権利保護」の一環として、中国公安局等より中国国内で違法に流通する日本製コンテンツについて、権利の帰属先及び権利許諾の有無の照会が寄せられている。照会の対象となっている作品数が膨大であることや、作品の権利者が「製作委員会」であり、権利者の特定が容易ではないことなどから、権利者の業務負担が大きいことから、対応作業の労務負担を減らし、作業効率を高めるため、令和 4 年度に、権利照会 DB を開発した。
- ・ 今年度は、これまでの照会の回答を DB 内に蓄積し、実際の中国からの照会に DB を通じての回答を実行した。また、作品の中国語名および英語名の情報追加、権利者不明となった作品を会員社が一覧できるページや、事案に関わった企業のみが確認可能な事件進捗の情報ページの構築なども実施した。

③ 国際知的財産保護フォーラム(IIPPF)への参加

- ・ IIPPF の各会合(総会、企画委員会、中国 PJ、インターネット PJ、啓発 PJ)に参加し、知的財産権侵害問題に関する情報の交換及び共有を図るとともに、その成果を当機構会員に適宜共有した。

④ 侵害対策に係る委員会等の実施

- ・ 共同エンフォースメント委員会・法制度委員会
 - ▶ 共同エンフォースメント委員会では、海外における海賊版問題について、会員社の著作権や当機構の団体商標(CJ マーク)の商標権に基づく共同エンフォースメントの実施、また正規版流通のための環境づくり・インフラ整備を目的として活動している。また法制度委員会は、国内外における著作権関連のトピックやコンテンツ業界の新たな動向や取組みなどを各界のテーマとして取り上げ、業界を超えた著作権・商標権侵害対策等に関する事例の共有・把握すること、及び現地当局への法律等制度面での改善要請を目的に開催している。今年度は共同エンフォースメント委員会を 3 回、法制度委員会を 3 回実施した。
- ・ 団体連絡会

- コンテンツ関連業界団体が、それぞれ独自の活動として取り組んでいる「侵害対策事業」及び「正規流通関連事業」について、相互に情報を交換・共有し、日本コンテンツ産業界の海外における諸問題の解決等に資することを目的に、今年度は2回実施した。

⑤ スマートフォンアプリへの対応

- ・ 日本音楽著作権協会（JASRAC）や日本レコード協会（RIAJ）から提供を受けた音楽コンテンツに係るスマートフォンアプリの情報を広告関連三団体へ提供し、それらアプリに対する広告出稿抑止対策への協力を求めた。今年度は4月に1回実施した。

2. 非インターネット上の海賊版に対する侵害対策の実施

(1) 共同エンフォースメントの実施

- ・ 日本コンテンツの海賊版(フィジカル・パイレーツ)にかかわる侵害実態（著作権・CJマーク商標権侵害など）の最新情報を継続的に把握し、効果的な共同エンフォースメントを実施した。中国、香港、台湾では、今年度に61件の取締りが実施され11名が逮捕、5,681枚の海賊版が押収された。共同エンフォースメントを開始した平成17年1月から令和7年3月の19年間では、17,475件の取締りが実施され、3,840名が逮捕、約700万本の海賊版が押収されるなどの大きな成果を収めている〔2〕。

3. コンテンツに対する知的財産権侵害の実態に関する情報収集や新たな対策の検討

(1) MPAによるサイトブロッキングの取組

- ・ MPAは数年来世界の様々な国・地域でサイトブロッキングの導入を試みている。その活動をけん引しているのがMPAのEMEA（ヨーロッパ、中東、アフリカ）オフィスとなり、当機構は昨年引き続き、7月にMPA・EMEAオフィスを訪問し、ヨーロッパから見た世界の侵害状況及びMPAの活動について情報収集を行った。また、MPAアジア太平洋地域との間でもサイトブロッキング担当者との連携及び情報共有を行った。

(2) 日本発IPにおけるNFT利活用促進に係る調査及び普及啓発

- ・ 近年、ブロックチェーン技術によってデジタル資産のトークン化が可能となり、コンテンツ産業でのNFTの活用が注目され、デジタルな資産や権利をトークン化して取引する

ことが可能となった。これをうけ、アートやマンガ、アニメや音楽等のコンテンツの新しい販売・保有形態が生まれたが、権利者でない者が無許諾に発行・販売をする NFT の取引も行われ、消費者被害や正規 NFT の販売機会の損失、マーケット全体の信頼性の棄損等の問題を引き起こしている可能性が指摘されていることから、当機構会員企業に対し、現在の NFT 活用のあり方や課題をアンケート調査により確認し、さらには YouTube に専門家による解説動画をアップ、一般消費者向けのリーフレットを作成するなど、一般消費者や企業等に対する正規 NFT の普及啓発を行った。

4. 知的財産に係る政府への意見提出など

- ・ 今年度も、昨年引き続き自民党知的財産戦略調査会において国際執行プロジェクトの成果報告を行うと共に、知的財産戦略本部、総務省が行った意見募集に関して、海賊版対策の強化等について意見をするなどした。

〔組織運営〕

1. 会員の異動

(1) 会員の異動

入会

2025年1月1日付

株式会社博報堂 DY ミュージック&ピクチャーズ（企業会員）

株式会社NTT ドコモ・スタジオ&ライブ（企業会員）

会員種別変更

2024年4月1日付

株式会社スクウェア・エニックス（賛助会員から企業会員へ）

一般社団法人 日本民間放送連盟（団体会員から賛助会員へ）

2. 2024年3月31日現在の会員数

企業会員 34社

団体会員 11社

賛助会員：10社/団体

55社/団体

3. 役員の異動

(1) 通常総会（2024年6月18日）

就任

理事 吉村 文雄 東映株式会社 代表取締役社長

理事 青山 隆行 一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構 管理本部長

監事 高橋 利郎 永田町法律事務所 弁護士

辞任

理事 多田 憲之 東映株式会社 代表取締役会長

理事 中谷 弥生 株式会社TBS テレビ 取締役

監事 市原 健介 一般財団法人デジタルコンテンツ協会専務理事

(2) 臨時総会（2024年9月5日）

就任

理事 横井 仁 株式会社TBS ホールディングス執行役員

4. 2025年3月31日現在の役員数

代表理事	2名
理事	11名
理事合計	13名
監事	2名

2024年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

<参考資料>

[1] 「自動コンテンツ監視・削除センター」運営実績

①通知及び削除状況累計実績（2011年8月～2025年3月）

	サイト名	削除要請数	削除数	削除率
1	mp4upload	677,222	677,056	99.98%
2	youtube	648,506	647,837	99.90%
3	facebook	631,120	603,960	95.70%
4	dramacool	251,274	22,594	8.99%
5	bilibili	239,417	236,421	98.75%
6	9anime	232,225	112	0.05%
7	gogoanime_3w	188,084	20,273	10.78%
8	dailymotion	171,733	171,726	100.00%
9	okru	168,268	167,296	99.42%
10	mega	145,734	145,734	100.00%
11	mangabank	145,688	22,242	15.27%
12	youku	131,969	131,604	99.72%
13	pandora	107,903	107,903	100.00%
14	streamtape	100,966	100,965	100.00%
15	naver	98,739	98,739	100.00%
16	gogoanime	92,850	396	0.43%
17	xstreamcdn	91,345	87,466	95.75%
18	tudou	88,818	88,799	99.98%
19	googlevideo	76,738	76,645	99.88%
20	bilibilitv	55,966	55,964	100.00%
21	vidstreaming	53,864	0	0.00%
22	videokvid	35,815	0	0.00%
23	tiktok	29,894	29,873	99.93%
24	rutube	23,918	22,795	95.30%
25	tunepk	22,110	22,110	100.00%
26	mixdrop	20,892	20,891	100.00%
27	vidoza	20,598	20,595	99.99%
28	anitubebiz	19,502	0	0.00%
29	ku6	18,126	18,126	100.00%
30	vidmoly	14,720	10,010	68.00%
31	voiranime	12,388	0	0.00%
32	gogoanime_tv	12,035	7	0.06%
33	b9dm	11,048	11,048	100.00%
34	56	10,716	10,716	100.00%
35	openload	9,603	9,603	100.00%
36	acfun	9,282	8,974	96.68%
37	tencent	9,170	9,168	99.98%
38	anitubebr	9,018	226	2.51%
39	9tsu	8,726	8,726	100.00%
40	kissanime	7,397	7,397	100.00%
41	fc2	6,944	6,944	100.00%
42	animetv	6,707	0	0.00%
43	miomio	5,588	5,570	99.68%
44	cdapl	5,515	5,515	100.00%

45	chiaanimetv	5,482	320	5.84%
46	streamz	5,431	0	0.00%
47	streamango	5,271	5,271	100.00%
48	aniwatch	4,703	0	0.00%
49	rapidvideo	4,272	4,272	100.00%
50	miomious	3,866	15	0.39%
51	iqiyi	3,524	3,524	100.00%
52	cloud9	3,424	0	0.00%
53	daumtv	3,238	3,238	100.00%
54	hydrax	3,216	0	0.00%
55	vimeo	3,215	3,215	100.00%
56	anitube	2,870	1,951	67.98%
57	uolmais	2,796	2,796	100.00%
58	clipwatching	2,656	2,646	99.62%
59	dilidili	1,995	1,235	61.90%
60	animelife	1,814	0	0.00%
61	letv	1,697	1,697	100.00%
62	pptv	1,556	1,555	99.94%
63	thevideo	1,505	1,505	100.00%
64	estream	1,435	1,435	100.00%
65	douyin	1,245	1,245	100.00%
66	watchanimes	1,121	1,121	100.00%
67	nosub	938	595	63.43%
68	twitter	878	876	99.77%
69	himado	646	646	100.00%
70	instagram	251	250	99.60%
71	japantver	242	0	0.00%
72	uploaded	226	226	100.00%
73	internetarchive	204	204	100.00%
74	mhometheater	188	0	0.00%
75	salefiles	186	186	100.00%
76	takefile	180	180	100.00%
77	rapidgator	152	45	29.61%
78	ani88	136	136	100.00%
79	wretch	135	135	100.00%
80	bakotv	120	0	0.00%
81	zippyshare	106	106	100.00%
82	amazonaws	76	76	100.00%
83	saymove	69	69	100.00%
84	anitoday	35	35	100.00%
85	6cn	23	23	100.00%
86	blogme	20	20	100.00%
87	rockfile	20	20	100.00%
88	weibo	15	15	100.00%
89	filecrypt	12	0	0.00%
90	zeroshare	12	12	100.00%
91	datafile	2	2	100.00%
92	baidu	1	1	100.00%
	総計	4,799,346	3,732,925	77.78%

②通知及び削除状況 2023 年度実績（2024 年 4 月～2025 年 3 月）

	サイト名	侵害URLリスト登録		人的モニタリング		総計		
		要請数	削除数	要請数	削除数	要請数	削除数	削除率
1	facebook	4,088	3,480	172,522	162,482	176,610	165,962	93.97%
2	mp4upload			116,563	116,560	116,563	116,560	100.00%
3	streamtape			75,789	75,788	75,789	75,788	100.00%
4	okru	6	5	38,167	37,248	38,173	37,253	97.59%
5	bilibili	3,145	2,994	32,704	30,735	35,849	33,729	94.09%
6	dramacool			35,214	0	35,214	0	0.00%
7	bilibilitv	87	87	28,398	28,396	28,485	28,483	99.99%
8	gogoanime_3w			26,849	0	26,849	0	0.00%
9	youtube	1,711	1,697	18,742	18,314	20,453	20,011	97.84%
10	tiktok	14,328	14,309			14,328	14,309	99.87%
11	vidmoly			12,930	8,220	12,930	8,220	63.57%
12	videokvid			12,583	0	12,583	0	0.00%
13	9anime			11,625	0	11,625	0	0.00%
14	mega	3	3	11,063	11,063	11,066	11,066	100.00%
15	gogoanime			10,672	0	10,672	0	0.00%
16	dailymotion	144	144	8,708	8,701	8,852	8,845	99.92%
17	voiranime			8,149	0	8,149	0	0.00%
18	mixdrop			6,944	6,944	6,944	6,944	100.00%
19	anitubebiz			4,924	0	4,924	0	0.00%
20	googlevideo	6	5	4,774	4,763	4,780	4,768	99.75%
21	vidoza			4,163	4,163	4,163	4,163	100.00%
22	cdapl			3,646	3,646	3,646	3,646	100.00%
23	rutube			2,316	1,196	2,316	1,196	51.64%
24	douyin	1,245	1,245			1,245	1,245	100.00%
25	fc2	8	8	974	974	982	982	100.00%
26	naver			893	893	893	893	100.00%
27	gogoanime_tv			708	0	708	0	0.00%
28	acfun	4	4	682	379	686	383	55.83%
29	youku			540	175	540	175	32.41%
30	vimeo			527	527	527	527	100.00%
31	twitter	249	248			249	248	99.60%
32	tencent			207	205	207	205	99.03%
33	internetarchive	111	111			111	111	100.00%
34	iqiyi	1	1	53	53	54	54	100.00%
35	instagram	47	47			47	47	100.00%
36	himado			42	42	42	42	100.00%
37	weibo	15	15			15	15	100.00%
	総計	25,198	24,403	652,071	521,467	677,269	545,870	80.60%

[2]IFACT-GC との中国、香港、台湾での共同エンフォースメント実績

①累計実績（2005年1月～2025年3月）

	取締件数	逮捕者	押収枚数	データファイル
香港	1,337	1,288	1,615,984	210
中国	13,916	304	4,403,696	0
台湾	2,222	2,248	981,064	16,329
合計	17,475	3,840	7,000,744	16,539

②2024年度実績（2024年4月～2025年3月）

累計（令和6年4月～令和7年3月）			
	取締	逮捕者	DVD
香港	8	6	1
深セン	50	0	5,680
台湾	3	5	0
合計	61	11	5,681

以上